

2022 年度（令和 4 年度）

シラバス

スポーツ学科 サッカーコース

履正社国際医療スポーツ専門学校

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	1年 前期	単位数	2 単位
科目名	ビジネスマナー I (サービス接遇)			講師名	興梠 悦子		
				実務経験			
実務内容							
講義形態	講義	必修・選択の別	必修	分野	一般		
授業概要	2年次に就職することを目標に、授業を通して、働くことへの大切さと共に、アルバイト先でも直ぐ使えるサービス接遇マナーを学習する。2年生になって直ぐに就職対策が図れるように、履歴書の作成の仕方などを学習指導する。						
到達目標	仕事をするにおいて、必要な対人技能とビジネス知識の習得を目指す。						
回数	講義計画						
第1回	オリエンテーション(授業要項)						
第2回	ビジネスマナーとは、接遇とは何か						
第3回	挨拶(お辞儀)徹底と返事の重要性						
第4回	身だしなみの基本、人の話を聴く姿勢						
第5回	信頼を得る態度動作(物の受け渡し・指示)						
第6回	言葉遣い 敬語①						
第7回	言葉遣い 敬語②						
第8回	言葉遣い 敬語③						
第9回	言葉遣い 接遇用語①						
第10回	言葉遣い 接遇用語②						
第11回	ミニテスト						
第12回	ビジネス検定試験取得について、模擬試験						
第13回	サービス接遇検定3級/クレームについて						
第14回	前期復習 夏休みの出来事報告(報告練習)						
第15回	前期復習						
テキスト	(株)JAPAN・SIQ協会 サービス接遇&ビジネスマナーテキスト						
参考文献							
評価方法		筆記試験	○	小テスト	○	出席率	実技(実習)
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()	
履修上の注意							
備考							

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	1年 後期	単位数	2 単位
科目名	ビジネスマナーⅡ(サービス接遇)			講師名	興梠 悦子		
				実務経験			
実務内容							
講義形態	講義	必修・選択の別	必修	分野	一般		
授業概要	2年次に就職することを目標に、授業を通して、働くことへの大切さと共に、アルバイト先でも直ぐ使えるサービス接遇マナーを学習する。2年生になって直ぐに就職対策が図れるように、履歴書の作成の仕方などを学習指導する。						
到達目標	仕事をするにおいて、必要な対人技能とビジネス知識の習得を目指す。						
回数	講義計画						
第1回	仕事の仕方、マネジメントサイクル						
第2回	指示命令の受け方、報告連絡相談						
第3回	ビジネス電話のマナー 電話対応の基本						
第4回	電話の受け方 基本練習①メモの書き方						
第5回	電話の受け方 基本練習②						
第6回	電話の受け方 実習先へ						
第7回	就職するとは 履歴書について						
第8回	履歴書の書き方① 自己分析と自己理解						
第9回	履歴書の書き方② 字の練習						
第10回	履歴書の書き方③ 字の練習						
第11回	履歴書の書き方④ 提出・封筒の書き方						
第12回	自己PR練習①						
第13回	自己PR練習②						
第14回	自己PR練習③						
第15回	グループディスカッション						
テキスト	(株)JAPAN・SIQ協会 サービス接遇&ビジネスマナーテキスト						
参考文献							
評価方法		筆記試験	○	小テスト	○	出席率	
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()	
履修上の注意							
備考							

2022(令和4)年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	1年 前期	単位数	2 単位
科目名	イベント運営法 I		講師名	岡本 憲明		
			実務経験	○		
実務内容	ジュニアスクール、高校、大学でのサッカー一部にて監督、コーチとして指導					
講義形態	講義	必修・選択の別	必修	分野	専門理論	
授業概要	8月・12月に学内グラウンドで、外部の女子選手やジュニアチームを招待して、履正社フェスティバルや履正社カーニバルを実施する。					
到達目標	大会概要やチーム募集などの各種決め事は学生主体で実施し、安全面、指導内容、募集方法などイベントを開催するにあたって必要なことができる。					
回数	講義計画					
第1回	イベント運営とは					
第2回	イベント運営とは					
第3回	フェスティバルの企画					
第4回	フェスティバルの企画・役割分担					
第5回	フェスティバル準備					
第6回	フェスティバル準備					
第7回	フェスティバル準備					
第8回	フェスティバル準備					
第9回	フェスティバル準備					
第10回	フェスティバル準備					
第11回	フェスティバル準備					
第12回	フェスティバル準備					
第13回	フェスティバルの最終確認・リハーサル					
第14回	フェスティバル実施・本番					
第15回	フェスティバル振り返り・まとめ					
テキスト						
参考文献						
評価方法	筆記試験	○	小テスト	○	出席率	○
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()
履修上の注意						
備考						

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	1年 後期	単位数	2 単位		
科目名	イベント運営法Ⅱ		講師名	岡本 憲明				
			実務経験	○				
実務内容	ジュニアスクール、高校、大学でのサッカー部にて監督、コーチとして指導							
講義形態	講義	必修・選択の別	必修	分野	専門理論			
授業概要	8月・12月に学内グラウンドで、外部の女子選手やジュニアチームを招待して、履正社フェスティバルや履正社カーニバルを実施する。							
到達目標	大会概要やチーム募集などの各種決め事は学生主体で実施し、安全面、指導内容、募集方法などイベントを開催するにあたって必要なことができる。							
回数	講義計画							
第1回	フェスティバル実施の反省・改善							
第2回	カーニバル企画							
第3回	カーニバル企画・役割分担							
第4回	カーニバル準備							
第5回	カーニバル準備							
第6回	カーニバル準備							
第7回	カーニバル準備							
第8回	カーニバル準備							
第9回	カーニバル準備							
第10回	カーニバル準備							
第11回	カーニバルの最終確認・リハーサル							
第12回	カーニバル実施							
第13回	カーニバル振り返り・まとめ							
第14回	来年度のイベント運営法に向けて							
第15回	1年間の総まとめ							
テキスト								
参考文献								
評価方法		筆記試験	○	小テスト	○	出席率	○	実技(実習)
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()	
履修上の注意								
備考								

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	1年 前期	単位数	2 単位
科目名	パソコン基礎 I		講師名	岡本 憲明		
			実務経験			
実務内容						
講義形態	講義	必修・選択の別	必修	分野	一般	
授業概要	現代社会ではパソコンの必要性が非常に高いため、Word・Excel・PowerPointの基本操作を理解する。 メールソフトでは、送信・受信・作成・保存の方法を理解する。					
到達目標	Word・Excel・PowerPointの基本操作の理解及び、メールソフトの使用方法を身に付ける。					
回数	講義計画					
第1回	タイピング練習					
第2回	タイピング練習					
第3回	Word(画面構成と基本操作)					
第4回	Word(画面構成と基本操作)					
第5回	Word(文章の作成と印刷)					
第6回	Word(文章の作成と印刷)					
第7回	Word(クリップアート挿入と活用)					
第8回	Word(表の挿入と活用)					
第9回	Word(文章の練習問題)					
第10回	Word(文章の練習問題)					
第11回	Word(文章の練習問題)					
第12回	メールソフト(作成)					
第13回	メールソフト(作成と送信)					
第14回	メールソフト(受信)					
第15回	文書作成まとめ					
テキスト	FOM出版 よくわかるWord2019 & Excel2019 & PowerPint2019					
参考文献						
評価方法	筆記試験	○	小テスト	○	出席率	実技(実習)
	授業態度		提出物(レポート)		その他 ()	
履修上の注意						
備考						

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年	後期	単位数	2	単位
科目名	パソコン基礎Ⅱ				講師名	岡本 憲明				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	講義	必修・選択の別	必修	分野	一般					
授業概要	現代社会ではパソコンの必要性が非常に高いため、Word・Excel・PowerPointの基本操作の理解、ビデオ編集の基本操作を中心に基礎知識を身に付ける。									
到達目標	Word・Excel・PowerPointを応用してプレゼンテーションができるようにする。また、ビデオ編集方法を身に付ける。									
回数	講義計画									
第1回	タイピング練習									
第2回	Excel(基本操作)									
第3回	Excel(表計算)									
第4回	Excel(グラフの作成)									
第5回	Excel(データベースの利用)									
第6回	Excel(関数入力・活用)									
第7回	Excel(練習問題)									
第8回	PowerPoint(基本操作)									
第9回	PowerPoint(プレゼンテーション作成)									
第10回	PowerPoint(プレゼンテーション実行)									
第11回	ビデオ編集(基本操作)									
第12回	ビデオ編集(編集方法)									
第13回	ビデオ編集(作成)									
第14回	ビデオ編集(発表)									
第15回	後期まとめ									
テキスト	FOM出版 よくわかるWord2019 & Excel2019 & PowerPint2019									
参考文献										
評価方法		筆記試験	○	小テスト	○	出席率		実技(実習)		
	○	授業態度		提出物(レポート)		その他 ()			
履修上の注意										
備考										

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年	前期	単位数	2	単位	
科目名	チーム運営簿記Ⅰ				講師名	山中 智					
					実務経験						
実務内容											
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	一般						
授業概要	実社会における簿記の必要性や習得することのメリットをしっかりと認識し、受験意識の向上を図る。また、簿記を通して社会の成り立ちや企業の仕組みを理解することで、今後の就職活動にも直結して役立つ授業を実施。										
到達目標	11月に実施される日商簿記検定3級合格を目指す。										
回数	講義計画										
第1回	オリエンテーション(授業要項・ルール)										
第2回	簿記の基礎①										
第3回	簿記の基礎②										
第4回	簿記の基礎③										
第5回	現金・預金①										
第6回	現金・預金②										
第7回	現金・預金③										
第8回	商品売買										
第9回	手形										
第10回	有価証券										
第11回	固定資産・その他期中仕訳										
第12回	帳簿・伝票・試算表①										
第13回	帳簿・伝票・試算表②										
第14回	帳簿・伝票・試算表③										
第15回	前期振り返り										
テキスト	TAC株式会社 みんなが欲しかった簿記の問題集 日商2.3級 商業簿記 第9版 TAC株式会社 みんなが欲しかった簿記の教科書 日商2・3級 商業簿記 第9版										
参考文献											
評価方法	<input type="radio"/>	筆記試験	<input type="radio"/>	小テスト	<input type="radio"/>	出席率					実技(実習)
	<input type="radio"/>	授業態度		提出物(レポート)		その他 ()
履修上の注意											
備考											

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年	後期	単位数	2	単位	
科目名	チーム運営簿記Ⅱ				講師名	山中 智					
					実務経験						
実務内容											
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	一般						
授業概要	実社会における簿記の必要性や習得することのメリットをしっかりと認識し、受験意識の向上を図る。また、簿記を通して社会の成り立ちや企業の仕組みを理解することで、今後の就職活動にも直結して役立つ授業を実施。										
到達目標	11月に実施される日商簿記検定3級合格を目指す。										
回数	講義計画										
第1回	決算手続き①										
第2回	決算手続き②										
第3回	決算手続き③										
第4回	精算表①										
第5回	精算表②										
第6回	財務諸表①										
第7回	財務諸表②										
第8回	簿記まとめ①										
第9回	簿記まとめ②										
第10回	簿記まとめ③										
第11回	日商簿記3級 過去問題 演習										
第12回	日商簿記3級 過去問題 演習										
第13回	日商簿記3級 過去問題 演習										
第14回	給与計算と年末調整										
第15回	後期まとめ										
テキスト	TAC株式会社 みんなが欲しかった簿記の問題集 日商2.3級 商業簿記 第9版 TAC株式会社 みんなが欲しかった簿記の教科書 日商2・3級 商業簿記 第9版										
参考文献											
評価方法	<input type="radio"/>	筆記試験	<input type="radio"/>	小テスト	<input type="radio"/>	出席率	<input type="checkbox"/>				実技(実習)
	<input type="radio"/>	授業態度	<input type="checkbox"/>	提出物(レポート)	<input type="checkbox"/>						
履修上の注意											
備考											

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	1年 前期	単位数	2 単位
科目名	リテールマーケティング I (販売士3級対策講座)			講師名	米谷 侑子		
				実務経験			
実務内容							
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	一般		
授業概要	販売士(リテールマーケティング)は、「流通業界で唯一の公的資格」で、業種・業態に関わらず、小売・流通業の成り立ちや店舗運営、販売に必要な商品知識や販売技術、仕入や在庫管理、マーケティングまで、販売のあらゆるノウハウを習得できるビジネス直結型の試験です。3級レベルは、小売店舗運営の基本的な仕組みを理解し、販売員としての基礎的な知識と技術を身につける。						
到達目標	2月に実施されるリテールマーケティング3級合格を目指す。						
回数	講義計画						
第1回	オリエンテーション						
第2回	ストアオペレーションの基本的役割						
第3回	ディスプレイの基本的役割						
第4回	ディスプレイの基本的役割2						
第5回	作業割り当て基本的役割						
第6回	人的販売の基本的考え方						
第7回	小売業マーケティングの基本的考え方						
第8回	顧客管理・販売促進の基本的役割						
第9回	商圈の設定と出店・売り場づくりの基本的考え方						
第10回	商品の基本知識						
第11回	マーチャンダイジングの基本 仕入計画・在庫管理の基本的役割						
第12回	マーチャンダイジングの基本 販売管理・価格設定の基本的役割						
第13回	商品計画の基本						
第14回	利益追求の基本知識						
第15回	前期まとめ・振り返り						
テキスト	株式会社キャリアック 販売士ハンドブック基礎編-3級						
参考文献							
評価方法		筆記試験	○	小テスト	○	出席率	
	○	授業態度		提出物(レポート)	○	その他 (検定試験結果内容)	
履修上の注意							
備考							

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年	後期	単位数	2	単位
科目名	リテールマーケティングⅡ (販売士3級対策講座)				講師名	米谷 侑子				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	講義	必修・選択の別		選択	分野	一般				
授業概要	販売士(リテールマーケティング)は、「流通業界で唯一の公的資格」で、業種・業態に関わらず、小売・流通業の成り立ちや店舗運営、販売に必要な商品知識や販売技術、仕入や在庫管理、マーケティングまで、販売のあらゆるノウハウを習得できるビジネス直結型の試験です。3級レベルは、小売店舗運営の基本的な仕組みを理解し、販売員としての基礎的な知識と技術を身につける。									
到達目標	2月に実施されるリテールマーケティング3級合格を目指す。									
回数	講義計画									
第1回	前期の振り返り									
第2回	流通における小売業の基本的役割									
第3回	流通経路別流通経路の基本役割									
第4回	形態別小売業の基本的役割									
第5回	店舗形態別小売業の基本的役割									
第6回	チェーンストアの基本的役割									
第7回	商業集積の基本的役割としくみ									
第8回	物流政策の戦略的展開									
第9回	商圈の設定と出店・売り場づくりの基本的考え方									
第10回	販売員の基本業務・法令知識									
第11回	販売事務と計算管理基本的知識									
第12回	売り場の人間関係・店舗管理の基本的役割									
第13回	検定試験模擬試験									
第14回	検定試験模擬試験									
第15回	後期まとめ・振り返り									
テキスト	株式会社キャリアック 販売士ハンドブック基礎編-3級									
参考文献										
評価方法		筆記試験	○	小テスト	○	出席率		実技(実習)		
	○	授業態度		提出物(レポート)	○	その他	(検定試験結果内容)			
履修上の注意										
備考										

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年	前期	単位数	2	単位
科目名	スポーツ医学				講師名	宮崎 拓哉				
					実務経験	○				
実務内容	スポーツ関連企業でトレーナーとして指導									
講義形態	講義	必修・選択の別			必修	分野	専門理論			
授業概要	スポーツと健康の関連性や一般的なスポーツ活動中の病気や外傷を学びながら、アスリートにおける予防と対策、さらには外傷・障害について部位ごとに理解を深める。指導者としての救急時の初期対応の重要性と基礎的対処法について、実技を踏まえて学習を進める。									
到達目標	サッカーなどスポーツ活動中における病気や外傷、予防や処置の仕方の習得。									
回数	講義計画									
第1回	スポーツと健康①【2-⑥】									
第2回	アスリートの健康管理①【2-⑥】									
第3回	アスリートの内科的障害と対策①【2-⑥】									
第4回	アスリートの内科的障害と対策②【2-⑥】									
第5回	女性アスリートの障害と対策【2-⑥】									
第6回	スポーツによる精神障害と対策【2-⑥】									
第7回	外傷・障害の予防①【2-⑥】									
第8回	外傷・障害の予防②【2-⑥】									
第9回	コンディショニングの手法①【2-⑥】									
第10回	救急処置(救急蘇生法)①【2-⑥】									
第11回	救急処置(救急蘇生法)②【2-⑥】									
第12回	救急処置(外科的応急処置)【2-⑥】									
第13回	アンチ・ドーピング①【2-⑦】									
第14回	アンチ・ドーピング②【2-⑦】									
第15回	まとめ									
テキスト	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book									
参考文献	サッカー医学テキスト(金原出版株式会社)									
評価方法	○	筆記試験	○	小テスト	○	出席率		実技(実習)		
	○	授業態度		提出物(レポート)		その他 ()				
履修上の注意										
備考										

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年	前期	単位数	2	単位
科目名	スポーツ科学				講師名	宮崎 拓哉				
					実務経験	○				
実務内容	スポーツ関連企業でトレーナーとして指導									
講義形態	講義	必修・選択の別	必修	分野	専門理論					
授業概要	身体の仕組みや動きについて、基礎的な生理学を学ぶ一方で、スポーツ心理学という観点から理論と実践を紹介し、スポーツ場面で生じる現象を捉えることで、実際のスポーツ現場で実践する力を身につけることを目指す。									
到達目標	サッカーの競技特性を考え、サッカーに必要となる体力や動きを分析し、自らのプレーに生かす。									
回数	講義計画									
第1回	身体の仕組みと動き【2-②】									
第2回	呼吸器循環系について【2-②】									
第3回	体力を構成する要素の体系・体カトレーニングの原理と原則【2-②】									
第4回	トレーニングの種類【2-②】									
第5回	スキルトレーニング【2-③】									
第6回	スポーツバイオメカニクス【2-③】									
第7回	心のトレーニングについて【2-④】									
第8回	スポーツの動機づけ【2-④】									
第9回	メンタルマネジメントとは【2-④】									
第10回	運動感覚と運動学習【2-④】									
第11回	心理的サポート・集中力【2-④】									
第12回	イメージトレーニングとは【2-④】									
第13回	性格と自己概念【2-④】									
第14回	心理的コンディショニング【2-④】									
第15回	まとめ									
テキスト	公益財団法人日本スポーツ協会 Reference Book									
参考文献										
評価方法	○	筆記試験	○	小テスト	○	出席率		実技(実習)		
	○	授業態度		提出物(レポート)		その他 ()				
履修上の注意										
備考										

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	1年 前期	単位数	2 単位	
科目名	審判法 I			講師名	紙本 天平			
				実務経験				
実務内容								
講義形態	講義	必修・選択の別	必修	分野	専門理論			
授業概要	サッカーの審判法は、実技試験を積み、的確な指導を受けないと向上できない。改定する規則も含め、競技規則の理解・解釈と、対角線審判法の動き方、判定の一貫性など審判員として自立できるように実技形式を多く取り入れ、実施する。							
到達目標	競技規則を理解し、審判員として試合をコントロールできるよう目指す。							
回数	講義計画							
第1回	サッカー競技規則 第1条～第3条							
第2回	サッカー競技規則 第4条～第6条							
第3回	サッカー競技規則 第7条～第10条							
第4回	サッカー競技規則 第11条～第13条							
第5回	サッカー競技規則 第14条～第17条							
第6回	審判実技:副審方法							
第7回	審判実技:副審方法							
第8回	審判実技:副審方法							
第9回	審判実技:副審方法							
第10回	審判実技:副審方法							
第11回	審判実技:副審方法							
第12回	審判実技:副審方法							
第13回	審判実技:副審方法							
第14回	審判実技:副審方法							
第15回	まとめ							
テキスト								
参考文献	サッカー競技規則 2020/21 公益財団法人日本サッカー協会							
評価方法	<input type="radio"/>	筆記試験	<input type="radio"/>	小テスト	<input type="radio"/>	出席率	<input type="radio"/>	実技(実習)
	<input type="radio"/>	授業態度		提出物(レポート)		その他 ()		
履修上の注意								
備考								

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	1年 通年	単位数	4 単位
科目名	サッカー実技 I		講師名	高祖 和弘・紙本 天平		
			実務経験	○		
実務内容	プロサッカーチームでコーチ、監督として指導					
講義形態	実技	必修・選択の別	必修	分野	専門実技	
授業概要	技術レベルの向上だけではなく、アジリティ系のトレーニングを多くおこないつつ、持久性・俊敏性能力と技術を磨く。 1つのポジションでは無く、ポリバリエーションな能力発揮にも重点を置き、今まで経験したことのないポジション変更により、多面的な感覚を身に付ける。					
到達目標	持久性と俊敏性の向上及び様々なポジションを経験することによるポリバリエーション性の向上。					
回数	講義計画		回数	講義計画		
第1回	コーディネーション・個人技術・テクニク		第16回	個人技術・フィジカルトレーニング(筋力)		
第2回	コーディネーション・個人技術・テクニク		第17回	個人技術・フィジカルトレーニング(筋力)		
第3回	コーディネーション・個人技術・テクニク		第18回	フィジカルトレーニング(持久力・スピード)		
第4回	フィジカルトレーニング(筋力・持久力)		第19回	フィジカルトレーニング(持久力・スピード)		
第5回	フィジカルトレーニング(筋力・持久力)		第20回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)		
第6回	フィジカルトレーニング(筋力・持久力)		第21回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)		
第7回	フィジカルトレーニング(筋力・持久力)		第22回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)		
第8回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)		第23回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)		
第9回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)		第24回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～8vs8)		
第10回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)		第25回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～8vs8)		
第11回	フィジカルトレーニング(スピード・パワー)		第26回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)		
第12回	個人戦術 攻撃・守備(1vs1～3vs3)		第27回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)		
第13回	個人戦術 攻撃・守備(1vs1～3vs3)		第28回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)		
第14回	個人戦術 攻撃・守備(1vs1～3vs3)		第29回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)		
第15回	個人戦術 攻撃・守備(1vs1～3vs3)		第30回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)		
テキスト						
参考文献						
評価方法	筆記試験	小テスト	○	出席率	○	実技(実習)
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()
履修上の注意						
備考						

2022(令和4) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	1年 通年	単位数	4 単位
科目名	サッカー実技Ⅱ		講師名	高祖 和弘・紙本 天平		
			実務経験	○		
実務内容	プロサッカーチームでコーチ、監督として指導					
講義形態	実技	必修・選択の別	必修	分野	専門実技	
授業概要	ボールを扱う技術レベルの向上を目指し、ボールを蹴る、止める、運ぶトレーニングを中心に。ボールを使ったトレーニングでは、ボールコントロール、パスコントロール、シュートコントロールと3つのテーマに分ける。					
到達目標	トレーニングやゲームの中でボールを扱う基本技術を身に付けるよう発展させる。					
回数	講義計画		回数	講義計画		
第1回	テクニック(ボールを蹴る・止める・運ぶ)		第16回	ボールコントロール(パス・トラップ・シュート)		
第2回	テクニック(ボールを蹴る・止める・運ぶ)		第17回	ボールコントロール(パス・トラップ・シュート)		
第3回	テクニック(ボールを蹴る・止める・運ぶ)		第18回	ボールコントロール(パス・トラップ・シュート)		
第4回	テクニック(ボールを蹴る・止める・運ぶ)		第19回	ゴール付きボールキープ(パス・トラップ・シュート)		
第5回	テクニック(ボールを蹴る・止める・運ぶ)		第20回	ゴール付きボールキープ(パス・トラップ・シュート)		
第6回	ボールコントロール(パス・トラップ)		第21回	ゴール付きボールキープ(パス・トラップ・シュート)		
第7回	ボールコントロール(パス・トラップ)		第22回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)		
第8回	ボールキープ(パス・トラップ)		第23回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)		
第9回	ボールキープ(パス・トラップ)		第24回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)		
第10回	ボールコントロール(シュート)		第25回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)		
第11回	ボールコントロール(シュート)		第26回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)		
第12回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～4vs4)		第27回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)		
第13回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～4vs4)		第28回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)		
第14回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～4vs4)		第29回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)		
第15回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～4vs4)		第30回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)		
テキスト						
参考文献						
評価方法	筆記試験	小テスト	○	出席率	○	実技(実習)
	○ 授業態度	○ 提出物(レポート)		その他 ()		
履修上の注意						
備考						

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年	通年	単位数	4	単位
科目名	サッカー実技Ⅲ				講師名	高祖 和弘・紙本 天平				
					実務経験	○				
実務内容	プロサッカーチームでコーチ、監督として指導									
講義形態	実技	必修・選択の別			必修	分野	専門実技			
授業概要	基本技術レベルの向上だけではなく、アジリティ系のトレーニングを多く取り入れながら、持久性・俊敏性能力と技術を磨く。個人戦術での攻撃と守備の中で数的同数だけでなく、数的不利と数的有利な状況をオーガナイズすることで個人の戦術理解度を高める。									
到達目標	グループ戦術の中でも最善な戦術を共有し、実行できるよう身に付ける。									
回数	講義計画				回数	講義計画				
第1回	アジリティトレーニング・個人技術				第16回	アジリティトレーニング・個人技術				
第2回	アジリティトレーニング・個人技術				第17回	アジリティトレーニング・個人技術				
第3回	個人技術・テクニク				第18回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)				
第4回	個人技術・テクニク				第19回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)				
第5回	個人技術・テクニク				第20回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				
第6回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)				第21回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				
第7回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)				第22回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～8vs8)				
第8回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)				第23回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～8vs8)				
第9回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)				第24回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)				
第10回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)				第25回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)				
第11回	個人戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)				第26回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)				
第12回	個人戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)				第27回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)				
第13回	個人戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)				第28回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
第14回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				第29回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
第15回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				第30回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
テキスト										
参考文献										
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率	○	実技(実習)		
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()				
履修上の注意										
備考										

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年	通年	単位数	4	単位
科目名	サッカー実技Ⅳ				講師名	高祖 和弘・紙本 天平				
					実務経験	○				
実務内容	プロサッカーチームでコーチ、監督として指導									
講義形態	実技	必修・選択の別			必修	分野	専門実技			
授業概要	守備の基本であるボールを奪うこと、攻撃の基本であるゴールを奪うことをテーマとした対人(デュエル)トレーニングを行う。対人をテーマとしているため、フィジカル強化も重点的に行う。									
到達目標	パワーやスピード、持久力を高める。									
回数	講義計画				回数	講義計画				
第1回	アジリティートレーニング・フィジカル				第16回	アジリティートレーニング・フィジカル				
第2回	アジリティートレーニング・フィジカル				第17回	アジリティートレーニング・フィジカル				
第3回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				第18回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				
第4回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				第19回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				
第5回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				第20回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				
第6回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				第21回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				
第7回	対人 守備・攻撃(ボールを奪う・ゴールを奪う)				第22回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				
第8回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)				第23回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				
第9回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)				第24回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)				
第10回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)				第25回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～6vs6)				
第11回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)				第26回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)				
第12回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)				第27回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～10vs10)				
第13回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				第28回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
第14回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				第29回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
第15回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)				第30回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)				
テキスト										
参考文献										
評価方法	○	筆記試験	○	小テスト	○	出席率	○	実技(実習)		
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()				
履修上の注意										
備考										

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	1年 前期	単位数	2 単位	
科目名	コンディショニング I			講師名	高祖 和弘・紙本 天平			
				実務経験	○			
実務内容	プロサッカーチームでコーチ、監督として指導							
講義形態	講義	必修・選択の別	必修	分野	専門理論			
授業概要	『体力』と『トレーニング』の基本を学び、知識を深めてから、体力測定の実施を踏まえ、知識と各種測定に関連性を学ぶ。							
到達目標	体力測定の意味を理解し、自己分析することで自分のプレーに生かす。							
回数	講義計画							
第1回	体力とは							
第2回	体力とは							
第3回	トレーニングの進め方(原理・原則)							
第4回	トレーニングの進め方(原理・原則)							
第5回	トレーニングの進め方(処方・ウォーミングアップとウォームダウン)							
第6回	トレーニングの進め方(処方・ウォーミングアップとウォームダウン)							
第7回	トレーニングの種類							
第8回	トレーニングの種類							
第9回	体力・コンディショニング評価法							
第10回	日本人選手のフィジカル特性							
第11回	日本人選手のフィジカル特性							
第12回	シーズンによるコンディショニング①							
第13回	シーズンによるコンディショニング①							
第14回	シーズンによるコンディショニング②							
第15回	シーズンによるコンディショニング②							
テキスト	日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者養成共通科目テキスト【I・II】							
参考文献	JFAフィジカル測定ガイドライン(日本サッカー協会)							
評価方法	○	筆記試験		小テスト	○	出席率	○	実技(実習)
	○	授業態度		提出物(レポート)		その他 ()	
履修上の注意								
備考								

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	1年 後期	単位数	2 単位	
科目名	コンディショニングⅡ			講師名	高祖 和弘・紙本 天平			
				実務経験	○			
実務内容	プロサッカーチームでコーチ、監督として指導							
講義形態	講義・実技	必修・選択の別	必修	分野	専門理論			
授業概要	『体力』と『トレーニング』の基本を学び、知識を深めてから、体力測定の実施を踏まえ、知識と各種測定に関連性を学ぶ。							
到達目標	体力測定の意義を理解し、自己分析することで自分のプレーに生かす。							
回数	講義計画							
第1回	フィジカルテスト(VMAテスト)							
第2回	フィジカルテスト(VMAテスト)							
第3回	フィジカルテスト(Yo-Yo Intermittent Recovery)							
第4回	フィジカルテスト(Yo-Yo Intermittent Recovery)							
第5回	フィジカルテスト(スプリント30m・50m)							
第6回	フィジカルテスト(スプリント30m・50m)							
第7回	フィジカルテスト(連続5段跳び)							
第8回	フィジカルテスト(連続5段跳び)							
第9回	フィジカルテスト(ロングキック)							
第10回	フィジカルテスト(ロングキック)							
第11回	フィジカルテスト(10m×5シャトルラン)							
第12回	フィジカルテスト(10m×5シャトルラン)							
第13回	フィジカルテスト(ステップ50)							
第14回	フィジカルテスト(ステップ50)							
第15回	まとめ							
テキスト	日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者養成共通科目テキスト【Ⅰ・Ⅱ】							
参考文献	JFAフィジカル測定ガイドライン(日本サッカー協会)							
評価方法	<input type="radio"/>	筆記試験	<input type="radio"/>	小テスト	<input type="radio"/>	出席率	<input type="radio"/>	実技(実習)
	<input type="radio"/>	授業態度	<input type="radio"/>	提出物(レポート)	<input type="radio"/>	その他 (
履修上の注意								
備考								

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年	前期	単位数	2	単位
科目名	トレーニング I				講師名	高祖 和弘・紙本 天平				
					実務経験	○				
実務内容	プロサッカーチームでコーチ、監督として指導									
講義形態	講義・実技	必修・選択の別	必修	分野	専門理論					
授業概要	基本技術レベルの向上だけではなく、アジリティ系のトレーニングを多く取り入れながら、持久性・俊敏性能力と技術を磨く。 個人戦術での攻撃と守備の中で数的同数だけでなく、数的不利と数的有利な状況をオーガナイズすることで個人の戦術理解度を高めるとともに、グループ戦術の中でも最善な戦術を共有し、実行できるよう身に付ける。									
到達目標	攻守における個人の戦術理解度を向上させる。									
回数	講義計画									
第1回	アジリティトレーニング・個人技術									
第2回	アジリティトレーニング・個人技術									
第3回	個人技術・テクニク									
第4回	個人技術・テクニク									
第5回	個人技術・テクニク									
第6回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)									
第7回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)									
第8回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)									
第9回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)									
第10回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2～3vs3)									
第11回	個人戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)									
第12回	個人戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)									
第13回	個人戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)									
第14回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)									
第15回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)									
テキスト										
参考文献										
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率	○	実技(実習)		
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()				
履修上の注意										
備考										

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年 後期	単位数	2 単位
科目名	トレーニングⅡ				講師名	高祖 和弘・紙本 天平		
					実務経験	○		
実務内容	プロサッカーチームでコーチ、監督として指導							
講義形態	講義・実技	必修・選択の別	必修	分野	専門理論			
授業概要	基本技術レベルの向上だけではなく、アジリティー系のトレーニングを多く取り入れながら、持久性・俊敏性能力と技術を磨く。 個人戦術での攻撃と守備の中で数的同数だけでなく、数的不利と数的有利な状況をオーガナイズすることで個人の戦術理解度を高めるとともに、グループ戦術の中でも最善な戦術を共有し、実行できるよう身に付ける。							
到達目標	攻守における個人の戦術理解度を向上させる。							
回数	講義計画							
第1回	アジリティートレーニング・個人技術							
第2回	アジリティートレーニング・個人技術							
第3回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)							
第4回	個人戦術 攻撃・守備(2vs2・3vs3)							
第5回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)							
第6回	グループ戦術 攻撃・守備(4vs4～5vs5)							
第7回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～8vs8)							
第8回	グループ戦術 攻撃・守備(5vs5～8vs8)							
第9回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)							
第10回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)							
第11回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)							
第12回	グループ戦術 攻撃・守備(数的不利・有利)							
第13回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)							
第14回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)							
第15回	グループ戦術 攻撃・守備(9vs9～11vs11)							
テキスト								
参考文献								
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率	○	実技(実習)
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()	
履修上の注意								
備考								

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	1年 後期	単位数	2 単位
科目名	スポーツ栄養学 I			講師名	赤田 みゆき		
				実務経験	○		
実務内容	病院勤務(管理栄養士)						
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	専門理論		
授業概要	生命活動の源である食事について、基本の知識を身につけ、日常の食生活に役立てられるように学習する。						
到達目標	スポーツ選手にふさわしい食生活を理解することで自分自身の食生活を見直す。						
回数	講義計画						
第1回	自己紹介・導入						
第2回	エネルギー産生に必要な栄養素						
第3回	五大栄養素・糖質1						
第4回	五大栄養素・脂質1						
第5回	五大栄養素・たんぱく質1						
第6回	五大栄養素・たんぱく質2						
第7回	五大栄養素・ビタミン1						
第8回	五大栄養素・ビタミン2						
第9回	五大栄養素・ミネラル1						
第10回	五大栄養素・ミネラル2						
第11回	休養期の食事						
第12回	トレーニング期の食事						
第13回	試合期の食事 グリコーゲンローディング						
第14回	試合期の食事 試合当日の食事						
第15回	まとめ						
テキスト	日本スポーツ協会共通テキスト【I】						
参考文献	化学同人 はじめて学ぶ健康・スポーツ 科学シリーズ6 スポーツ 健康栄養学						
評価方法	○	筆記試験	○	小テスト	○	出席率	実技(実習)
	○	授業態度		提出物(レポート)		その他 ()	
履修上の注意							
備考							

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年	前期	単位数	2	単位
科目名	スポーツ心理学Ⅰ				講師名	齊藤 雅子				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	専門理論					
授業概要	<p>「スポーツ心理学」は、スポーツ活動で生じる現象を対象とし、心理学的方法を用いて研究する学問として発展してきた。近年では、スポーツ選手の競技力向上のみならず、スポーツ現場における様々な問題や日常生活との関連などについても研究が進められている。</p> <p>本授業では、「スポーツ心理学」の理論と実践を紹介し、スポーツ選手や指導者など様々な視点からスポーツ場面で生じる現象を捉える力を身につけることを目指す。</p>									
到達目標	さまざまな視点から「気づく力」「発見する力」を身につける。									
回数	講義計画									
第1回	スポーツと心【Ⅱ-3-①】									
第2回	スポーツにおける動機付け【Ⅱ-3-②】									
第3回	スポーツ技能の練習と指導【Ⅱ-3-③】									
第4回	プレイヤーの個人指導と心理問題【Ⅱ-3-③】									
第5回	チーム指導と心理問題【Ⅱ-3-③】									
第6回	コーチングの評価【Ⅱ-3-③】									
第7回	メンタルマネジメントとは【Ⅲ-6-①】									
第8回	リラクゼーション【Ⅲ-6-①】									
第9回	イメージトレーニング【Ⅲ-6-①】									
第10回	集中力のトレーニング【Ⅲ-6-①】									
第11回	心理的コンディショニング【Ⅲ-6-①】									
第12回	あがり、スランプの克服【Ⅲ-6-①】									
第13回	指導者のメンタルマネジメント【Ⅲ-6-②】									
第14回	復習									
第15回	まとめ									
テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅱ・Ⅲ(日本スポーツ協会) 「スポーツメンタルトレーニング教本」大修館書店									
参考文献	「よくわかるスポーツ心理学」ミネルヴァ書房 「これから学ぶスポーツ心理学」大修館書店									
評価方法	<input type="radio"/>	筆記試験	<input type="radio"/>	小テスト	<input type="radio"/>	出席率	<input type="radio"/>	実技(実習)		
	<input type="radio"/>	授業態度	<input type="radio"/>	提出物(レポート)	<input type="radio"/>	その他 ()				
履修上の注意										
備考										

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年	後期	単位数	2	単位
科目名	スポーツ心理学Ⅱ				講師名	齊藤 雅子				
					実務経験					
実務内容										
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	専門理論					
授業概要	<p>「スポーツ心理学」は、スポーツ活動で生じる現象を対象とし、心理学的方法を用いて研究する学問として発展してきた。近年では、スポーツ選手の競技力向上のみならず、スポーツ現場における様々な問題や日常生活との関連などについても研究が進められている。</p> <p>本授業では、「スポーツ心理学」の理論と実践を紹介し、スポーツ選手や指導者など様々な視点からスポーツ場面で生じる現象を捉えることで、受講生が幅広い知見を習得し、実際のスポーツ現場で実践する力を身につけることを目指す。</p>									
到達目標	実際のスポーツ現場で活用できる心理学を取得する。									
回数	講義計画									
第1回	メンタルトレーニングとその効果									
第2回	メンタルトレーニングに活かすカウンセリング									
第3回	心理的コンディショニングとパフォーマンス									
第4回	スポーツにおける認知行動療法									
第5回	行動変容技法・目標設定技法									
第6回	メンタルトレーニング演習①(リラクゼーション)									
第7回	メンタルトレーニング演習②(注意集中技法)									
第8回	メンタルトレーニング演習③(イメージ技法)									
第9回	ポジティブシンキング(積極的思考法)									
第10回	競技心理の諸問題									
第11回	心理テスト法									
第12回	競技生活の心理的サポート									
第13回	運動による健康増進									
第14回	復習									
第15回	まとめ									
テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト 共通科目Ⅱ・Ⅲ(日本スポーツ協会) 「スポーツメンタルトレーニング教本」大修館書店									
参考文献	「よくわかるスポーツ心理学」ミネルヴァ書房 「これから学ぶスポーツ心理学」大修館書店									
評価方法	<input type="radio"/>	筆記試験		小テスト	<input type="radio"/>	出席率		実技(実習)		
	<input type="radio"/>	授業態度	<input type="radio"/>	提出物(レポート)		その他 ()				
履修上の注意										
備考										

2022(令和4) 年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	1年 後期	単位数	2 単位
科目名	アスレティック・リハビリテーション			講師名	宮崎 拓哉		
				実務経験	○		
実務内容	スポーツ関連企業でトレーナーとして指導						
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	専門理論		
授業概要	解剖学・生理学・医学・運動療法・物理療法等の知識を総合してリハビリプログラムを作成する能力を身に付ける。さらに、スポーツ医学で得た知識を中心に受傷から競技復帰までの流れの知識を得る。						
到達目標	実技を交えながら実際のリハビリメニューも身に付ける。						
回数	講義計画						
第1回	アスリハ概要						
第2回	アスリハの実際						
第3回	肩関節のリハビリ(概要)						
第4回	肩関節のリハビリ(実技)						
第5回	腰痛・股関節のリハビリ(概要)						
第6回	腰痛・股関節のリハビリ(実技)						
第7回	膝関節・肉離れのリハビリ(概要)						
第8回	膝関節・肉離れのリハビリ(実技)						
第9回	足関節のリハビリ(概要)						
第10回	足関節のリハビリ(実技)						
第11回	グループ発表①						
第12回	グループ発表②						
第13回	グループ発表③						
第14回	テスト前課題						
第15回	まとめ						
テキスト							
参考文献	プリント配布						
評価方法	<input type="checkbox"/>	筆記試験	<input type="checkbox"/>	小テスト	<input type="checkbox"/>	出席率	実技(実習)
	<input type="checkbox"/>	授業態度	<input type="checkbox"/>	提出物(レポート)	その他 ()		
履修上の注意							
備考							

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年	前期	単位数	2	単位
科目名	サッカーテーピング				講師名	山下 直人				
					実務経験	○				
実務内容	高校、大学、トップチームでトレーナーとして指導									
講義形態	講義	必修・選択の別	選択	分野	専門理論					
授業概要	テーピングの効果や巻き方等の実技を踏まえ、理解し実際に巻けるように身につける。サッカー競技に多い傷害のテーピングをチームメイト等に巻けるようにし、怪我発生時や知識・予防として選手のコンディショニングに繋げるよう学ぶ。									
到達目標	実際の現場で実践できるアイシング方法やテーピング処置をできるようにする。									
回数	講義計画									
第1回	授業ガイダンス									
第2回	テーピングとは・テーピング扱い方									
第3回	足関節(固定)									
第4回	足関節(固定)									
第5回	足関節(急性外傷)									
第6回	足関節(応用)									
第7回	肉離れ(大腿部・下腿部)									
第8回	足関節、足底部									
第9回	膝関節(基本)									
第10回	膝関節(基本・応用)									
第11回	膝関節(応用)									
第12回	実技練習									
第13回	実技練習									
第14回	まとめ									
第15回	まとめ									
テキスト	「医道の日本社」身体運動の機能解剖									
参考文献										
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率	○	実技(実習)		
	○	授業態度		提出物(レポート)		その他 ()				
履修上の注意										
備考										

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	1年 前期	単位数	2 単位
科目名	トレーナー特講 I (JATI)			講師名	宮崎 拓哉		
				実務経験	○		
実務内容	スポーツ関連企業でトレーナーとして指導						
講義形態	講義・実技	必修・選択の別	選択	分野	専門理論		
授業概要	トレーニングの知識や考え方、身体の使い方を学ぶ。 理論編の教科書を通じ、身体の解剖、生理学、バイオメカニクスなど、 様々な知識を理解し、実技で体験してトレーニングについて学ぶ。						
到達目標	日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者(JATI-ATI)の資格取得を目指す。						
回数	講義計画						
第1回	授業ガイダンス						
第2回	トレーニング基本(原理・原則)						
第3回	実技トレーニング(ベンチプレス①)						
第4回	実技トレーニング(ベンチプレス②)						
第5回	実技トレーニング(部位:大胸筋)						
第6回	実技トレーニング(部位:肩周囲)						
第7回	実技トレーニング(部位:背中)						
第8回	実技トレーニング(部位:腹部)						
第9回	実技トレーニング(部位:上腕・前腕)						
第10回	実技トレーニング(スクワット①)						
第11回	実技トレーニング(スクワット②)						
第12回	実技トレーニング(下半身:マシン)						
第13回	実技トレーニング(バーベル等)						
第14回	トレーニングプログラム作成						
第15回	まとめ(理論・実技)						
テキスト	トレーニング指導者テキスト 理論編・実践編・実技編(各1冊、合計3冊) 出版社:日本トレーニング指導者協会						
参考文献							
評価方法	<input type="checkbox"/>	筆記試験	<input type="checkbox"/>	小テスト	<input type="checkbox"/>	出席率	実技(実習)
	<input type="checkbox"/>	授業態度	<input type="checkbox"/>	提出物(レポート)	その他 ()		
履修上の注意							
備考							

学科・コース名	スポーツ 学科	サッカー	コース	開講時期	1年 前期	単位数	2 単位
科目名	トレーナー特講Ⅱ(JATI)			講師名	宮崎 拓哉		
				実務経験	○		
実務内容	スポーツ関連企業でトレーナーとして指導						
講義形態	講義・実技	必修・選択の別	選択	分野	専門理論		
授業概要	トレーニングの知識や考え方、身体の使い方を学ぶ。 理論編の教科書を通じ、身体の解剖、生理学、バイオメカニクスなど、 様々な知識を理解し、実技で体験してトレーニングについて学ぶ。						
到達目標	日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者(JATI-ATI)の資格取得を目指す。						
回数	講義計画						
第1回	前期トレーニングの復習						
第2回	実技トレーニング(パワークリーン①)						
第3回	実技トレーニング(パワークリーン②)						
第4回	実技トレーニング(パワークリーン③)						
第5回	実技トレーニング(スナッチ①)						
第6回	実技トレーニング(スナッチ②)						
第7回	実技トレーニング(プライオメトリクス①)						
第8回	実技トレーニング(プライオメトリクス②)						
第9回	実技トレーニング(プライオメトリクス③)						
第10回	実技トレーニング(プライオメトリクス④)						
第11回	目的に応じたトレーニング(筋肥大)						
第12回	目的に応じたトレーニング(筋力・パワー)						
第13回	トレーニングプログラム作成						
第14回	トレーニングプログラム作成②						
第15回	まとめ(理論・実技)						
テキスト	トレーニング指導者テキスト 理論編・実践編・実技編(各1冊、合計3冊) 出版社:日本トレーニング指導者協会						
参考文献							
評価方法	<input type="checkbox"/>	筆記試験	<input type="checkbox"/>	小テスト	<input type="checkbox"/>	出席率	実技(実習)
	<input type="checkbox"/>	授業態度	<input type="checkbox"/>	提出物(レポート)	その他 ()		
履修上の注意							
備考							

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年	前期	単位数	4	単位
科目名	指導法Ⅰ				講師名	高祖 和弘				
					実務経験	○				
実務内容	プロサッカーチームでコーチ、監督として指導									
講義形態	講義・実技	必修・選択の別	選択	分野	専門理論					
授業概要	年齢に関係なく子供から大人までの指導方法を学ぶ。指導者として普段行わなければならない①ゲーム→②分析→③プランニング→④トレーニング&コーチングを実際に行い、それと並行して、⑤チームの育成と選手の育成、⑥チームマネジメント、⑦指導者に必要な知識、を講義や実技を通して学ぶ。									
到達目標	サッカーの特性や原理原則を理解する。実際に自分で試合を分析し、トレーニングのプランニングをできるようにする。									
回数	講義計画									
第1回	ジュニア期のスポーツの考え方と指導者の役割									
第2回	ジュニア期のスポーツの考え方と指導者の役割									
第3回	ジュニアスポーツ指導員の役割									
第4回	子どもの発達とコミュニケーションスキル									
第5回	子どもの発達とコミュニケーションスキル									
第6回	子どもの発達とコミュニケーションスキル									
第7回	動きの発達とスキルの獲得(基本動作の習得)									
第8回	動きの発達とスキルの獲得(基本動作の習得)									
第9回	動きの発達とスキルの獲得(動作の習熟)									
第10回	動きの発達とスキルの獲得(動作の習熟)									
第11回	動きの発達とスキルの獲得(スポーツスキルの上達)									
第12回	動きの発達とスキルの獲得(スポーツスキルの上達)									
第13回	動きの発達とスキルの獲得(より専門性の高いスポーツスキルの獲得)									
第14回	動きの発達とスキルの獲得(より専門性の高いスポーツスキルの獲得)									
第15回	指導計画書の作成とプレゼンテーション									
テキスト	日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者養成テキスト【Ⅰ・Ⅲ】									
参考文献	サッカー指導教本(公益財団法人日本サッカー協会) JFA U-12指導指針(公益財団法人日本サッカー協会)									
評価方法	○	筆記試験		小テスト	○	出席率		実技(実習)		
	○	授業態度		提出物(レポート)		その他 ()				
履修上の注意										
備考										

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年 後期	単位数	4	単位
科目名	指導法Ⅱ				講師名	高祖 和弘			
					実務経験	○			
実務内容	プロサッカーチームでコーチ、監督として指導								
講義形態	講義・実技	必修・選択の別	選択	分野	専門理論				
授業概要	年齢に関係なく子供から大人までの指導方法を学ぶ。指導者として普段行わなければならない①ゲーム→②分析→③プランニング→④トレーニング&コーチングを実際に行い、それと並行して、⑤チームの育成と選手の育成、⑥チームマネジメント、⑦指導者に必要な知識、を講義や実技を通して学ぶ。								
到達目標	サッカーの特性や原理原則を理解する。実際に自分で試合を分析し、トレーニングのプランニングをできるようにする。								
回数	講義計画								
第1回	運動あそび・ゲームの実際(乳幼児期)			親子のあそび・ゲーム					
第2回	運動あそび・ゲームの実際(乳幼児期)			一人でできるあそび・ゲーム					
第3回	運動あそび・ゲームの実際(乳幼児期)			グループでのあそび・ゲーム					
第4回	運動あそび・ゲームの実際(児童前期)			あそびや運動					
第5回	運動あそび・ゲームの実際(児童前期)			幼少年期に必要とされる動き					
第6回	運動あそび・ゲームの実際(児童前期)			運動あそびやゲームの実際					
第7回	運動あそび・ゲームの実際(児童後期)								
第8回	指導実習								
第9回	指導実習								
第10回	運動あそび・ゲームの実際(青年前期)			基本的な運動組み合わせ					
第11回	運動あそび・ゲームの実際(青年前期)			スポーツ種目特有のスキル					
第12回	運動あそび・ゲームの実際(青年前期)			コーディネーション					
第13回	指導実習								
第14回	指導実習								
第15回	まとめ								
テキスト	日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者養成テキスト【Ⅰ・Ⅲ】								
参考文献	サッカー指導教本(公益財団法人日本サッカー協会) JFA U-12指導指針(公益財団法人日本サッカー協会)								
評価方法	<input type="radio"/>	筆記試験		小テスト	<input type="radio"/>	出席率		実技(実習)	
	<input type="radio"/>	授業態度		提出物(レポート)		その他 ()			
履修上の注意									
備考									

学科・コース名	スポーツ 学科 サッカー	コース	開講時期	1年 通年	単位数	8 単位
科目名	審判法Ⅱ		講師名	梅本 博之		
			実務経験	○		
実務内容	サッカーの国際審判員、インストラクター					
講義形態	講義・実技	必修・選択の別	選択	分野	専門理論	
授業概要	説得力のあるレフェリング技術を学ばせる。特に、今年度は実技指導を重視し、VTRによる振り返りに時間をかける。実際のゲームで主審、副審を体験させ、競技規則の適用や動きについて学ばせる。レベルの高い大学生のゲームを担当する上級審判員の実際のレフェリングを観戦させることによって、自分の課題を考えさせ、目指す審判像を明確にさせ、実践させる。学んだことをレポートとしてまとめさせ、自ら解決すべき課題を認識させ改善させる。					
到達目標	2級審判員を目指す。					
回数	講義計画		回数	講義計画		
第1回	オリエンテーション		第16回	2020/2021競技規則改正について		
第2回	2020「Jリーグスタンダード」		第17回	審判実技レフェリング指導(主審と副審)		
第3回	主審の基本的な動き		第18回	判定の精度を高める主審の動きとポジショニング		
第4回	審判実技レフェリング指導(主審と副審)		第19回	審判実技レフェリング指導(主審と副審)		
第5回	競技規則13条から17条		第20回	審判実技レフェリング指導(主審と副審)		
第6回	審判実技レフェリング指導(主審と副審)		第21回	悪意のあるプレーの見極め・選手の意図を読む		
第7回	オフサイドの判断とファールサポート		第22回	審判実技レフェリング指導(主審と副審)		
第8回	観戦研修 関西学生サッカー1部リーグ		第23回	審判実技レフェリング指導(主審と副審)		
第9回	審判実技レフェリング指導(主審と副審)		第24回	観戦研修 関西学生サッカー1部リーグ		
第10回	審判実技レフェリング指導(主審と副審)		第25回	ゲームコントロールとスムーズランニング		
第11回	12条 コンシダレーションポイントの把握と懲戒罰		第26回	審判実技レフェリング指導(主審と副審)		
第12回	審判実技レフェリング指導(主審と副審)		第27回	審判実技レフェリング指導(主審と副審)		
第13回	アドバンテージの的確な適用		第28回	手や腕の不正使用を許さないレフェリング		
第14回	審判実技レフェリング指導(主審と副審)		第29回	審判実技レフェリング指導(主審と副審)		
第15回	前期振り返り		第30回	1年間の振り返り		
テキスト						
参考文献	大修館書店 詳解 サッカーのルールと審判法2005					
評価方法	筆記試験	○	小テスト	○	出席率	○
	授業態度		提出物(レポート)		その他 ()	
履修上の注意						
備考						

2022(令和4)年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年	前期	単位数	4	単位
科目名	チーム戦術Ⅰ				講師名	高祖 和弘・紙本 天平				
					実務経験	○				
実務内容	プロサッカーチームでコーチ、監督として指導									
講義形態	講義・実技	必修・選択の別	選択	分野	専門理論					
授業概要	コーナーキックやフリーキックなどのセットプレーの確認、戦術の確認などの練習を多く取り入れ、週末の試合を想定したトレーニングを行う。									
到達目標	試合を想定したトレーニングの中でチーム戦術を理解する。									
回数	講義計画									
第1回	コーディネーショントレーニング									
第2回	コーディネーショントレーニング									
第3回	コーディネーショントレーニング									
第4回	セットプレー(攻撃)①									
第5回	セットプレー(攻撃)②									
第6回	セットプレー(攻撃)③									
第7回	セットプレー(守備)①									
第8回	セットプレー(守備)②									
第9回	セットプレー(守備)③									
第10回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)									
第11回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)									
第12回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)									
第13回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)									
第14回	グループ戦術 攻撃・守備(10vs10～11vs11)									
第15回	グループ戦術 攻撃・守備(10vs10～11vs11)									
テキスト										
参考文献										
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率	○	実技(実習)		
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()				
履修上の注意										
備考										

2022(令和4)年度

講義計画(シラバス)

学科・コース名	スポーツ	学科	サッカー	コース	開講時期	1年 後期	単位数	4 単位	
科目名	チーム戦術Ⅱ				講師名	高祖 和弘・紙本 天平			
					実務経験	○			
実務内容	プロサッカーチームでコーチ、監督として指導								
講義形態	講義・実技	必修・選択の別	選択	分野	専門理論				
授業概要	コーナーキックやフリーキックなどのセットプレーの確認、戦術の確認などの練習を多く取り入れ、週末の試合を想定したトレーニングを行う。								
到達目標	試合を想定したトレーニングの中でチーム戦術を理解する。								
回数	講義計画								
第1回	コーディネーショントレーニング								
第2回	コーディネーショントレーニング								
第3回	コーディネーショントレーニング								
第4回	セットプレー(コーナーキック)①								
第5回	セットプレー(コーナーキック)②								
第6回	セットプレー(コーナーキック)③								
第7回	セットプレー(フリーキック)①								
第8回	セットプレー(フリーキック)②								
第9回	セットプレー(フリーキック)③								
第10回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)								
第11回	グループ戦術 攻撃・守備(8vs8～9vs9)								
第12回	グループ戦術 攻撃・守備(10vs10～11vs11)								
第13回	グループ戦術 攻撃・守備(10vs10～11vs11)								
第14回	グループ戦術 攻撃・守備(11vs11)								
第15回	グループ戦術 攻撃・守備(11vs11)								
テキスト									
参考文献									
評価方法		筆記試験		小テスト	○	出席率	○	実技(実習)	
	○	授業態度	○	提出物(レポート)		その他 ()		
履修上の注意									
備考									